

2026年 6月 28日

主 日 礼 拝 8時半 / 10時半 / 夜7時

司 会 白川 達男兄
奏 楽
祈 祷 小山美枝子姉
賛 美 聖歌424番「ただ信ぜよ」
～パワー・オブ・ユア・ラブ～

使徒信条
聖書朗読 テサロニケの信徒への手紙二 1章3～7節
〔共同訳p372/口語訳p324〕

特別讃美 「夢を語ろう」長沢崇史師（ワールドビジョン）
メッセージ 「神への信仰＝人への誠実」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌593番「ああめぐみ！」
～わたしの願い～（献金：小林[弘]姉・渡辺姉）

祝 祷
お知らせ 〔司会者〕
賛 美 ～「その日全世界が」（長沢崇史師作）～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝致します！午後は聖歌隊の練習が行われます。
★今週の祈会：明朝6時/木曜朝10時半(12時/お掃除)と夜7時半/土曜夜8時
☆来週の日曜午後2時半～世の光コンサート&メッセージ。ゲストは長沢師。
会場は上田文化会館。(礼拝司会：白川兄/祈：石井兄/献金:渡辺姉・小林[弘]姉)

☆一年に一回聖書を完読できる！Bible Reading Plan [6/28－7/5]☆								
Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	使徒 8:1-24/ 歴代下 18-19	:25-40 /20-21	9:1-22 /22-24	:23-43/ 25-27	10:1-22 /28-29	:23-48 /30-31	11/ 32-33	12/ 34-35
チェック	〇/〇〇	〇/〇〇	〇/〇〇〇	〇/〇〇〇	〇/〇〇	〇/〇〇	〇/〇〇	〇/〇〇

「神への信仰＝人への誠実」

～パウロの手紙とヤコブの手紙は矛盾しない～

「このことを思って、いつもあなたがたのために祈っています。どうか、私たちの神が、あなたがたを招きにふさわしい者としてくださり、その御力によって、善を望むあらゆる思いと信仰の行いを成就させてくださいますように。」
テサロニケの信徒への手紙二 1章11節

新約聖書の元の言語はギリシャ語で書かれました。日本語の「信仰」と訳されている「πίστις(ピスティス)」は、同時に他の聖書箇所では「誠実さ」とも訳されています。ですから、「信仰」と「誠実さ」という聖書の言葉は全く同じ単語が使われているのです。ですから、神に対する「信仰」と、人々に対する「誠実さ」ということは全く同じ意味を持っていることになります。

ですから、ヤコブが「…人は行いによって義とされるのであって、信仰だけによるものではありません(ヤコブ2章24節)」と語った意味は、もし、私たちが神を信じているのなら、神に対して忠実になろうとするだけでなく、隣人に対しても誠実になろうとするはずであるということ。私たちの信仰は神に対してのみ向けられるものではなく、「誠実さ」という観点から見ると、当然、人にも向けられなければならないということです。「心を尽くして神を愛し、自分の隣人を愛する」というたとえの中で、イエス様が「良きサマリヤ人」について語られましたが、私たちの神への信仰は、同時に、苦しい、困っている、自分の苦手な、憎んでいる人に対しても向けられるべきものであるということを主は私たちに教えたかったということ。弟さんであるヤコブはまさにそのイエス様の最も伝えたかったメッセージをその手紙を通して、仲間たちに伝えたのです。